健康・福祉

生活保護行政への取組

問 貧困問題が深刻化し、生活保護制度の利用者がふえているが、県として、餓死事件などが起こらないようにするため、どのような取組をしているのか。

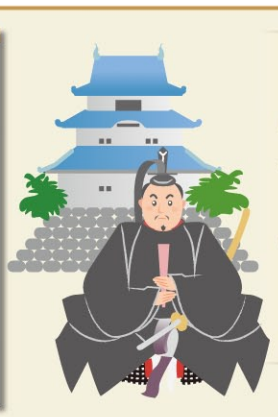
答 生活保護制度の周知徹底を図るため、県ホームページを活用するとともに、実施機関でも、相談窓口に来られた方には「保護のしおり」できめ細かい説明を行っています。また、保護申請の意思が確認できた方には速やかに保護申請書を交付し、申請手続の助言を行うとともに、必要書類が整っていないことで拒否しないよう実施機関を指導しています。

骨髄移植への支援

問 骨髄提供の手術をしたが、移植手術のため4日間の休暇をとらねばならなかった。ドナー休暇制度の導入促進など、積極的に進めていくべきではないのか。

答 ドナーとして骨髄提供を行うには数日間の入院が必要となるので、職場の理解が不可欠となります。県や県内の全ての市町村では骨髄提供時の休暇制度が導入されていますが、民間企業等では一部にとどまっています。今後とも、ドナー登録の機会拡大や普及啓発を行うとともに、休暇制度の導入について県内企業に働きかけていきます。

文化



紀州徳川家創設400年祭の企画

問 徳川頼宣公が紀州藩主として和歌山に入り、2019年に400年を迎えるので、民間、市町村の協力を得て「紀州徳川家創設400年祭」を企画してはどうか。

答 今年の伊勢神宮式年遷宮から3年連続で大イベントが続くことから、現在、積極的かつ戦略的な観光プロモーションを展開し、誘客拡大に取り組んでいますが、次の目標として「紀州徳川家創設400年祭」の開催について積極的に考え、和歌山市をはじめ、いろいろな方に話を持ちかけたいと思います。

岩橋千塚古墳群の整備

問 岩橋千塚古墳群には800基を超える古墳があり、紀伊風土記の丘園内に約430基が特別史跡として存在しているが、古墳の保護、周辺地域を含む特別史跡の拡充はどうか。

答 岩橋千塚古墳群では平成7年度から11年度に周辺の指定地外の古墳の分布調査と発掘調査を実施し、特別史跡内の古墳と遜色のない貴重な古墳が多数存在していることが判明しています。このうち、天王塚古墳については、昭和40年ごろの学術調査によって首長級の墓であることがわかっています。今後は国の文化財として保護されるよう、県としても積極的に働きかけてまいります。

解説 岩橋千塚古墳群…和歌山市岩橋にある全国最大規模の古墳群。この地区を中心に紀伊風土記の丘が開設されている。

国体

国体応援と観戦への対応

問 国体は、次代を担う子供たちにとってスポーツのすばらしさを感じさせる絶好の機会である。授業の長期休暇への振りかえ、また授業の一環としての応援や観戦についてどう考えるのか。

昭和46年黒潮国体

答 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会は、児童生徒への教育効果に極めて大きいものがあります。半世紀に一度の貴重な機会を生かすため、教育活動の一環として地元市町村で行われる競技を応援・観戦したり、児童生徒が個々に興味のある競技を県内全域で応援・観戦できるよう、柔軟に対応していきます。

土木

新宮港内の静穏度対策

問 新宮港内の静穏度を向上させ、大型船舶の入出港確率を高めるため、県は今後どのような対策を考えているのか。

答 新宮港は紀南地方の地域振興にとって重要な港であり、現在、船舶の安全な入出港や係留を確保するため、港内静穏度を向上させる防波堤の整備を実施中で、平成27年度完成を目標に取り組んでいます。防波堤が完成すれば所定の港内静穏度は確保されると考えますが、その効果を確認するため、昨年度から港内と港外に波高計を設置して波浪の観測を始めています。

観光

外国人観光客への県産品PR

問 本県を訪れる外国人に対し、県産品を使用した料理を食してもらい、「和歌山はおいしい」と印象づけ、確実な和歌山ファンを獲得していってはどうか。

答 近年、輸出事業に取り組む生産者もふえているので、外国人観光客を受け入れている地元宿泊施設等とのタイアップによる商品PRの手法も生産者に提案していきます。また、和歌山を外国人観光客に強く印象づけるため、JAなどの生産者や地元関係機関とともに、年間を通じて県産品を使用してもらえるよう宿泊施設等に働きかけていきます。

ハラル市場への進出

問 マレーシアのハラル市場への進出可能性と、進出した場合に観光面から期待できることは何か。

答 ハラル市場への対応はこれまで特段行っていませんが、よく勉強して対応できるようにしていきます。マレーシアは昨年の訪日数が過去最高を記録し、今後一層の増加も予想される、大変有望な市場です。今後もマレーシアへのプロモーションを継続・強化し、さらなる誘客に努めていきます。

解説 ハラル…主に、イスラム法で食べてもよいとされている物。イスラム教徒は、ハラル品であると認証されたもの以外の食べ物、飲物は避けねばならない。マレーシアは、世界で唯一、政府による認証が行われている。

くらし

高速道路高架下の開放

問 少年野球や少年サッカーの活動において、雨天練習場の確保に苦労している。南紀田辺インターから南への高速道路の高架下スペースを活用できないのか。

答 近畿自動車道紀勢線田辺～すさみ間の高架下の利用については、関係市町などの意見を聞き、まちづくりの観点から確認し、占用主体が日常的な点検等を的確に行えるかなど道路管理上の観点もあわせ、国において総合的に判断されることになります。県としては、まちづくりなどの面から、関係市町村の意見を踏まえ、有効活用が図られるよう国に働きかけます。

商店街の街路灯改修への支援

問 商店街が整備してきた街路灯で老朽化が進んでいるものがある。国の補助事業は今年度限りであるので、補助事業終了後も県と市町が連携して支援できないのか。

答 街路灯の修繕、維持管理は所有者が行うべきものと考えています。県としては、平成22年度から商店街のコミュニティ機能強化支援事業を実施し、商店街の空き店舗を活用した集客力が期待できる公益的事業に対して補助を行っています。あわせて、担当者が頻繁に商店街に行き、地元関係者とともに活性化への知恵を出し合い、実行する等の活動に取り組んでいます。